

# お宝祭



## 【 内容 】

### ■ お宝☆トークライブ

#### 『幸せの鍵は〇〇？』

※京都新聞 4/11(地域版),4/17(社会福祉面)

◎京都市長あいさつ来場決定

#### ◎トーク: 明和政子先生

(京都大学 大学院 教育学研究科 教授  
東京大学客員教授、科学者)

◀当日取材▶宮崎新聞

※明和先生の写真の撮り直しのため

◎ナビゲート: 山村龍和(書道家)

### ■ お宝☆交流会

交流会では、グループ(お題)に分かれて、意見交換、新しいアイデアが生まれたり、自分の可能性に改めて気づく場を目指します。

今からできる「何か」が見つかったり、一緒に行動する仲間が見つかるかも！名刺をお持ちの方は、ご持参ください。

### ■ お宝☆抽選会など(景品募集中)

オリジナル図書カード、協賛品などの抽選会

□ 参加される方 およそ110名

(おなかの赤ちゃんを含む)

- ・京都市長
- ・保育連盟 副理事、幼稚園、保育園の園長
- ・京都市総合政策室より数名
- ・4月より新設の京都市はぐくみ局(後援)
- ・地域のために活動する市民を応援したい市職員
- ・お宝バンク登録事業者
- ・社会がよりよくなる活動を広げたい方
- ・子育て事業に関わる方
- ・児童福祉、社会福祉の発展を思う人
- ・教育関係者
- ・こども事業の責任者様、明るい社会
- ・幸せな家庭づくりを思う人
- ・より住みやすい町づくりをお考えの方
- ・全国の胎教アドバイザー30名

5月7日(日) 京都西本願寺の聞法会館で、参加型シンポジウム「お宝祭」を開催します。

思い(お宝)が集まり、集まってくださった方の「思い」や「できること」を、このイベントでは「お宝」と呼びます。ひとりひとりの「お宝」を持ち寄り、新たな「お宝」を生み出すことが「お宝祭」の目的です。

本イベントから、幸せな家庭、平和な社会が広がるために、ぜひ、取材いただきたくお願い申し上げます。  
・メディア(新聞、テレビ、雑誌、ラジオ、その他)

■ 後援 京都市/京都市教育委員会/京都府教育委員会  
京都新聞 / 京都新聞社会福祉事業団

■ 話題 京都新聞(4/11地域版)、  
京都新聞(4/17社会福祉面)  
FMラジオ 4/16「Let's KYO Together!」α-STATION  
宮崎新聞(5/7 明和先生の※写真撮り直し)  
※4月14日の京都市にて講演時に、  
よい写真が撮れず、撮影だけのために来場。

## 【「お宝祭」開催の背景】

日本胎教協会では、よい胎教(おなかの赤ちゃんによい環境づくり)の普及啓発活動しております。

1. 人口の維持には、出生率2.07が必要といわれ、少子化問題を抱える日本は、深刻な状況です。出生率のワースト2位は京都府と知りました。よい胎教は、幸せな家庭づくりにつながり、こどもを産み、育てたい、家庭を持ちたいと思う若者を増やします。この地域で子育てがしたいと思える活動をしようと思いました。
2. 母子手帳の裏表紙に「京都市は妊娠初期からの子育てを応援します」と記載があり、共感、共鳴し、私も「じぶんごと」として取り組むことに決めました。
3. 日本の市区町村1742か所(2016年)  
平成14～19年: 東山区ワースト2位、上京区ワースト14位、下京区ワースト30位、平成20～24年: 京都市は1675位と知り、責任を感じました。

京都市は、小学校発祥の地、幼児教育発祥の地です。京都市は日本最初の小学校と幼児教育の発祥の地なので、「胎教(おなかの赤ちゃんからの子育て)」の充実も日本最初を目指し「きょうとおもしろ情報 <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000013266.html>」の10番目(日本初の胎教研究チーム結成、胎教を公的に発信した最初の地)を目指します。

京都市と協働で「よりよい地域へ」と思い動く人の協力、明るいこどもの未来への熱い思いを持つ胎教アドバイザー®がスタッフで全国から30人集まり「お宝祭」開催が実現します。

[ お問い合わせ ] 日本胎教協会 山村尊子

京都市下京区中堂寺庄ノ内町50-18

WEB <http://taikyo-jp.net/> 電話/FAX 075-322-0126

メール [info@taikyo-jp.net](mailto:info@taikyo-jp.net) 営業時間 9時～18時(5/5は休み)